

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスくら			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ～ 2025年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月8日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりの困り感に寄り添った方法による個別の学習支援を行っている。言葉・数を中心とした課題学習、宿題等のサポートを行い、学習習慣を身に付ける支援をしている。 ・季節に応じた創作活動を通年実施し、巧緻性や想像力を育む支援をしている。	・個々の学習レベルに合わせて課題の作成を行い提供している。学習が苦手な利用者に対しても、個別指導を通じて達成感や成功体験につなげ、学習意欲が高まるよう支援している。 ・難しい課題も工程を細かく分け、スモールステップ化することで達成感や自信につながるよう取り組んでいる。	・学習状況や成長を定期的に保護者と共有し、家庭や学校と連携しながら小さな達成感を積み重ね、自信につなげられるよう支援していく。 ・工程の中で利用者が自分で自由に選択して製作できる余地を残し、自由な発想や想像力が発揮できるよう支援していく。
2	・活動スペースがドアで仕切られているため、学習や工作など視覚的に特定の作業に集中しやすく、利用者の活動に合わせた空間や環境が整っている。 ・次亜塩素酸空間除菌脱臭機を設置しており、清潔で快適な空間が保っている。	・聴覚過敏がある利用者には、音によるストレスを軽減するためにイヤーマフが使用できるようにし、より集中できる環境を整えている。 ・活動内容に応じて次亜塩素酸空間除菌脱臭機を移動させ、安全に配慮している。	・活動スペースが広くないため、細かな道具の整理方法を工夫し、より快適な生活空間を整えていく。 ・引き続き、日常の清掃と換気を組み合わせながら、より衛生的な環境を維持していく。
3	・例年、夏休み中に2日間に分けて希望者全員が参加できる夏祭りを実施しており、利用者の家族同士と一緒に楽しみ交流を深める機会を設けている。	・利用者の中で各ゲームコーナーごとに説明や進行などの担当や役割を決め、友達と協力しながら責任を持って取り組む経験につなげている。また、保護者にとっても子どもの成長が感じられる機会になるよう取り組んでいる。	・夏祭りが家族同士だけではなく、相談員や学校、第三者委員など利用者に携わる幅広い関係者に対しても案内を行い、交流を通じて利用者や事業所に対する理解を深めてもらう機会にしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所外活動については、公園外出や買い物学習体験など実施しているが、場所や内容などが固定化されつつある。	・サービス提供時間が個々によりバラつきがあるため、行ける場所や内容が限られている。	・外遊びの場所や様々な新しい体験の機会など、事業所内だけでは得られない幅広い可能性を探り、地域社会とのつながりを深める機会を積極的に設けていく。
2	・児童クラブや児童館など、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・事業所内だけで実施するイベントがほとんどであるため。	・事業所のイベントに来ていただくことは難しいが、近くに児童館はあるため、利用する機会を設けたり、近所の公園で地域の子もたちと外遊びを通じて交流する機会を設けていきたい。
3	・学習支援に重点を置いている事業所であることもあり、年齢が上がっても継続した支援を希望される利用者が多い。そのため、退所者が少なく新規の受け入れが難しい状況にある。また、利用者数が増えると事業所の特徴でもある個別の学習支援が難しくなる。	・利用日数については、関係者と協議の上、進学や家庭環境の変化に応じて増減の相談を行い、より療育が必要な利用者が利用できるよう調整している。	・高学年児の保護者には、早期療育の大切さを知っていただき、低学年児を優先的に支援させていただきたい考えをご理解してもらえるよう、懇談等の機会に説明していく。